

事業実績書

団体名	小鯖地域づくり協議会
-----	------------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

地区住民および各種団体が連携・協力して、豊かで住みよい安全な 地域づくりを進める。

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	「さばろっち」をキーワードにし、若い世代が集える場を設け、「地元 地域」に目を向けるキッカケづくりをすると共にその気運を「若者のびのび事業」、「竹馬世界選手権大会」の取組みに繋げる		
	事業名	若者のびのび事業と竹馬世界選手権大会	決算額	計) 183, 184円
②	視点	高齢者への日常支援だけでなく、高齢者在宅家庭への支援を考える		
	事業名	高齢者サポート	決算額	23, 661円
③	視点	安心して暮らせる地域環境づくり		
	事業名	空家調査及び交通安全啓発活動	決算額	計) 49, 049円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
<p>①若者のびのび事業：前年度に引き続き、若い世代を対象に、「さばろっち未来カフェ」を開催し、少しずつでも地域づくりに関心をもってもらう取組みをした結果、声かけと共に若い世代が集まり、「竹馬世界選手権大会」や「鳴滝クリーンマルシェ作戦」の取組みに繋ぐことができました。今後も計画的に企画して、若い世代が活躍できる環境を整えて行きます。</p>	◎
<p>②高齢者サポート：高齢独居者が増える中、継続して進めている「日常サポート支援」事業を行なうと共に、地域から「在宅で介護が必要な家庭の悩み・相談がある」という声を下に、「高齢者在宅家族サポート」講座を開催しました。今後もこんな声が多くなって行くので、地域で取り組める施策の検討を進めます。</p>	○
<p>③空家調査及び交通安全啓発活動：安心して暮らせる環境づくりにおいて、防犯面で空家及び交通安全を取り上げ、各地区自治会長の協力を得てそれぞれの調査(空家と交通危険箇所)をしました。それぞれに情報が出てきていますが、協議会で単に対応出来るものではないので、関係部署に依頼しつつ改善できるように進めます。</p>	○

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

平成30年度から第3次「小鯖地域づくり計画」に基づいて事業を推進しました。特に「若い世代の地域づくりへの関わり」に重点を置きました。全体としては従来からの部会による事業と実行委員会形態の若い世代の活動とがうまく進んだと思います。31年度以降は「協議会」として全体の事業の見直しを進め、更に各委員が率先して取り組めるような体制づくりを検討していきます。

5 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	5,344,296円
事務局の運営体制	<p>(事務員等の雇用人数): 事務局長 1名、事務局員 2名 計 3名</p> <p>(運営費の主な内容): 事務局人件費、事務費、通信費、各事業費の管理、広報活動 他</p> <p>(成果・評価): 年間を通じて滞りなく事務局運営を行いました。</p> <p>(今後に向けて): 第3次「小鯖地域づくり計画」(平成30～34年度版の見直しも含め、新体制の地域づくり協議会を模索しつつ、事業推進体制を強化して行きます。</p>

(2) 地域振興

事業名	2-① 地域活性化応援
事業費	228,037円
事業概要	<p>(実施内容): 恒例になった そうめん流し、写真コンテスト、イルミネーション飾りを実施しました。</p> <p>(実施時期): そうめん流し(夏まつり8月)、写真コンテスト(ふるさとまつり11月)、イルミネーション点灯(12月9日～1月25日)</p> <p>(参加人数): 写真コンテスト(30点応募)、そうめん流し、イルミネーション実施については実行委員会組織で実施、準備・片付けでは部会委員も支援しました。</p> <p>(成果): 写真コンテストは、今年も地区外にも広報しましたが応募がなく応募数が伸びませんでした。そうめん流し、イルミネーションは実行委員会組織ですが地元で認知される事業に定着して来ました。</p> <p>(評価): イルミネーション点灯については、終わりをもう少し早くても良いという意見がありました。(長くても成人式後迄が良い)</p> <p>(今後に向けて): 地域活性化事業と言えども、どんな成果が望めるのか良く検討して事業継続の選択を考えて進めます。</p>

事業名	2-② コミュニティ交通運行応援事業
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容): 国道262号沿線地区のコミュニティ交通についてアンケート調査検討し、結果を山口市と協議します。</p> <p>(実施時期): アンケート調査実施(12月12日～28日)、集計まとめ(1月8日～17日) 山口市交通政策課・交通ジャーナリストと打合せ(1月22日)</p> <p>(参加人数): 対象地区自治会長を通して、1300戸配布(1戸につき1枚アンケート方式)</p> <p>(成果): アンケート回収率30%。最も多かった要望は、「国道ではなく、市道(萩往還道)にコミュニティバスを走らせ欲しい」という意見でした。</p> <p>(評価): アンケートによる意見は単なる要望の傾向にありますが、小鯖地区内の道路網、住宅地区、移動手段等の絡みを考慮して、地域に合ったコミュニティ交通の検討が必要です。</p> <p>(今後に向けて): 平成31年度内に講師に交通ジャーナリストを招いて、今後の小鯖地区に合ったコミュニティ交通について考える勉強会を開催します。</p>

事業名	2-③ 特産品創出
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容): 小鯖地域で誇れる特産品が少なく、農業従事者等と協力しながら特産品を生み出すための調査や検討を行います。</p> <p>(実施時期): 30年6月～31年1月</p> <p>(参加人数): 計7回の部会の中で話合う (部会委員10人)</p> <p>(成果): この部会の構成員の中に専門的な知識経験をもった人がいなかったため、色々アイデアが出ましたが、実際に実現できるものか分からず、まとめることが出来ませんでした。</p> <p>(評価): ー</p> <p>(今後に向けて): 単独の部会だけで創り出すことは無理なテーマですが、今後何かのヒントになるという観点で、話合いを31年度も継続します。</p>

(3) 地域福祉

事業名	3-① 生きがいづくり支援
事業費	102,735円
事業概要	<p>(実施内容): 「生きがいづくり」として、健康や生きがいをポイントにしたグラウンドゴルフ・ウォーキング・B級グルメ創出、いきいきサロンの支援を取り組みました。また、高齢者生きがいセンターを活用したさばろっち交流広場運営を進めました。</p> <p>(実施時期): 「さばろっち交流広場」常時オープン。健康グラウンドゴルフ(6月7日)、健康ウォーキング(10月14日)、B級グルメ(30年12月)</p> <p>(参加人数): 「さばろっち交流広場」の利用者数は約500人/年で減少傾向。「健康グラウンドゴルフ」(37人)、「健康ウォーキング」(30人)、「B級グルメ」(福祉員、部会員)</p> <p>(成果): グラウンドゴルフ、ウォーキングも大会でなく健康増進を目標にしたもので、参加者は楽しくプレー出来ました。B級グルメについては、小鯖地産の野菜を使った「そうめん」料理にチャレンジして関係者には好評でしたが、取組み目標が単独部会にはそぐわないのではという意見も聞かれました。</p> <p>(評価): ー</p> <p>(今後に向けて): 継続して活動出来るよう支援していくことが大事と考えます。</p>

事業名	3-② 高齢者サポート
事業費	23,661円
事業概要	<p>(実施内容): 日常支援作業と高齢者在宅家族サポート研修を行いました。</p> <p>(実施時期): 日常支援作業 夏季2件 冬季2件 高齡者在宅家族サポート研修 3月10日</p> <p>(参加人数): 日常支援作業・・・部会メンバー 12人 高齡者在宅家族サポート研修 40人</p> <p>(成果): 草刈り(1件)、清掃(1件)、不用物搬出処分(2件)、在宅家族サポート講習会参加者は介護を受ける年代が多く、募集方法の工夫が必要と思われます。</p> <p>(評価): 高齢者所帯においては、今後も検討して欲しいと好評ですが、年々支援依頼の件数が減少して来ていますが、遠慮によるものか、近所の助け合いが進んでいるのか調査してみて、取組み方法を検討します。</p> <p>(今後に向けて): 平成31年度以降は、包括支援センターが推進する「地域包括ケアシステム」とタイアップした形で検討を進めます。</p>

事業名	3-③ ふれあい配食サービス
事業費	155,450円
事業概要	<p>(実施内容):「ふれあい配食」弁当を効率的、衛生的に調理出来るように調理器具(冷凍冷蔵庫・包丁研ぎ機)の補充を支援しました。</p> <p>(実施時期):年間3回実施しました。(10月5日、12月7日、3月1日)</p> <p>(参加人数):毎回 約100食を配っています。</p> <p>(成果): 食中毒を配慮して専用の調理器具等を揃え、計画通り実施しました。</p> <p>(評価):少ない配食回数ですが、非常に喜ばれている事業になっています。</p> <p>(今後に向けて):調理や食中毒対策に対応した器具補充を継続して取り組みます。</p>

事業名	3-④ 子育てサロン支援
事業費	26,159円
事業概要	<p>(実施内容):地区内住民の要望に応え、色々子育てについて若い親の相談相手をする「子育て支援活動」(実施主体:子育て支援連絡協議会)を支援しました。</p> <p>(実施時期):定例会(年2回)、子育て多世代交流会 7月13日</p> <p>(参加人数):交流会 約35人</p> <p>(成果):「子育て支援」に関する意見交換が多く出て、若い親に喜ばれています。</p> <p>(評価):各イベントにおいて、食生活改善推進員や母子保健推進員、ボランティアの方々等の支援で予定通りの事業が実施出来ました。</p> <p>(今後に向けて):継続して「子育て支援活動」を支援して行きます。</p>

事業名	3-⑤ 子どもの家設立研究
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容):子どもを地域で育てる考えの下、核家族化、共稼ぎの家庭が増える中、地域の中で安心して子どもを預けられる場所の設立を検討するものです。</p> <p>(実施時期): 30年7月～31年2月</p> <p>(参加人数):毎月開催の部会の中で話し合う</p> <p>(成果):検討テーマが漠然としていて、部会の中で方向性を見出すことが出来ませんでした。</p> <p>(評価):単独の部会で取り扱うにはハードルが高いと判断しました。</p> <p>(今後に向けて):他の事業と併せて取り組みを検討します。</p>

(4)安心・安全

事業名	4-① 防火防犯対策
事業費	0円
事業概要	(実施内容): 各地区自治会長に依頼し、空家の実態を調査を実施しました。 (実施時期): 調査(7月10日～8月末)、まとめ(9月11日)、調査結果説明(11月8日) (参加人数): 23地区自治会長を通じて、対象1900戸を調査 (成果): 空家としての確認は97戸。その内、不良度が進行しているもの23戸。大規模な修繕/解体が必要なもの 11戸。防火防犯上対応が必要なもの 1戸。地区自治会で対応が難しいため状況に応じて山口市に連絡し、対応してもらいます。 (評価): - (今後に向けて): 空家の防火防犯上の具体策に向けて、継続して検討を進めます。

事業名	4-② 子どもの見守り隊の充実推進
事業費	42,580円
事業概要	(実施内容): 小鯖っ子の登下校時の安全を期し、見守り活動を年間通じて行なっていますが、冬用手袋と横断旗を購入揃えました。 (実施時期): 30年4月～31年3月 (参加人数): 現在見守り隊登録の会員数は 約85人です。 (成果): 啓発活動を進めていますが、冬季時期の見守り活動で準備した冬用ジャンパー、帽子も一巡し、今後のことも考慮し、冬用手袋を揃えました。 (評価): 小鯖小学校通学者の登校下校時の安全を見守る活動で地区住民からは感謝されています。 (今後に向けて): 子どもの数も減少して来ているものの、見守り隊員の高齢化も進み隊員数も減少して来ている。小鯖っ子を大事にする気持ちで、継続して取り組みます。尚、入会・脱会手続きが不明な点もあり、実質的に活動支援出来る会員の名簿を整理します。

事業名	4-③ 遊び場確保支援
事業費	0円
事業概要	(実施内容): 地区内に子どもが安心して遊べる遊び場の確保を検討します。 (実施時期): 30年6月 ~ 31年2月 (参加人数): 毎月開催の部会の中で話し合う (成果): 検討テーマが漠然としていて、地域内で適した遊び場を見出すことが出来ませんでした。 (評価): 単独の部会で取り扱うにはハードルが高いと判断しました。 (今後に向けて): 他の事業と併せて取り組みを検討します。

事業名	4-④ 防犯灯設置推進補助事業
事業費	10,000円
事業概要	(実施内容): 新規・取替え設置 1灯に対し、2,000円の助成をします。 (実施時期): 年間 (参加人数): - (成果): 5件申請 (評価): - (今後に向けて): 防犯安全観点から、今後も助成を継続します。

事業名	4-⑤ 交通安全運動推進(交通マナー)
事業費	49,049円
事業概要	<p>(実施内容):安全運転、安全歩行の意識をより喚起向上させるために、多くの人が集まる「夏まつり」「ふるさとまつり」時を利用し、特設ブースを設け、交通安全に関する内容の掲示等を実施して啓発活動に努めました。また、交通安全協会委員を中心とした朝の安全指導は安心の絆を広めています。新たに交通安全上の改善が必要と考えられる場所の調査も実施しました。</p> <p>(実施時期):夏まつり 8月11日、ふるさとまつり 11月18日、交通危険箇所調査 1月以降</p> <p>(参加人数): 夏まつり 約210人、ふるさとまつり 約115人</p> <p>(成果):まつり時に親子等で参加出来るような形式で交通安全に関するクイズ等を行ったり、地域での交通危険箇所を認識してもらうようなパネルを設置し参加型の取組みで安全意識が高まりました。交通危険箇所情報 5件あり、警察等と立会い調査も行いました。</p> <p>(評価): —</p> <p>(今後に向けて):交通安全運動期間中に ベスト等を着用し交通危険箇所を巡回して安全意識を高めるよう努めます。</p>

(5)環境づくり

事業名	5-① 花いっぱい運動推進
事業費	21,978円
事業概要	<p>(実施内容):公共の花壇の整備をする各団体(自治会、子ども会を除く)に対し、その整備費用に対して助成しました。</p> <p>(実施時期):30年4月～31年2月</p> <p>(参加人数): 1団体</p> <p>(成果):対象団体の考え方を見直した結果、1団体のみでの申請でした。また昨年引き続き「花の種(夏用・秋冬用)」100袋を配布しました。</p> <p>(評価): 助成内容の見直しについて、理解が得にくかったことと、従来から手続きが面倒くさいという率直な意見もあり、申請数が少なくなったと思います。</p> <p>(今後に向けて): 環境美化事業は次年度以降も継続して実施します。広く認識してもらうために、広報紙「おさば」以外による広報活動も併せて検討します。</p>

事業名	5-② 一斉清掃活動推進
事業費	149,000円
事業概要	<p>(実施内容): 道路・河川・広場等の清掃共同活動を実施する自治会団体に対し、その整備費用に対して助成しました。(各地区、年2回まで)</p> <p>(実施時期): 30年4月～31年3月</p> <p>(参加人数): 延べ30地区 (年2回まで助成)</p> <p>(成果): 団体数として、前年度より増加</p> <p>(評価): 小鯖地区全体として、色々な清掃活動により一年を通して整備されています。本取組みも、定着して来ています。</p> <p>(今後に向けて): 環境美化事業は次年度以降も継続して実施します。前項と同様に、広く認識してもらうために、広報紙「おさば」以外による広報活動も併せて検討します。</p>

事業名	5-③ 萩往還整備
事業費	26,373円
事業概要	<p>(実施内容): 小鯖地区内のハイキングコースになっている萩往還道周辺(重点的に山口防府市境の佐波山トンネル地区の約800m)の草刈り等の整備を行ないます。</p> <p>(実施時期): 年2回(6月、10月)</p> <p>(参加人数): 6月9日 40人、10月27日 26人</p> <p>(成果): この取り組み事業は、萩往還の環境保全の意識も高く、参加者も含め定着化してきています。</p> <p>(評価): コースを散策される方々にも喜んでいただいています。</p> <p>(今後に向けて): 小鯖の財産である萩往還の整備は、継続して行きます。</p>

事業名	5-④ 鳴滝公園の観光地化推進
事業費	12,532円
事業概要	<p>(実施内容): 本年は、鳴滝公園及び河川プール周辺、更に中原中也詩碑周辺も含めての草刈り等整備をして、鳴滝美化を進めました。</p> <p>(実施時期): 7月14日</p> <p>(参加人数): 43人 (山口県、山口市職員のボランティア協力参加も含めて)</p> <p>(成果): 鳴滝河川プールオープン前に、河川プール周辺、鳴滝公園、中原中也詩碑周辺の草刈り等整備を行い、夏休み時期は多くの親子連れの姿がありました。</p> <p>(評価): 草刈り整備は地元でも実施出来るが、観光地化については山口市と継続して協議して、環境整備管理の検討が必要です。</p> <p>(今後に向けて): 観光地化、野良猫等の問題については、山口市、地元目浴会、支援者と共に解決に向けて協議して行くと共に公園、プールの整備も継続して進めます。</p>

事業名	5-⑤ 正田山の環境整備
事業費	43,066円
事業概要	<p>(実施内容): 一昨年に引き続き、正田山の貯水タンク2階部の図柄の塗り替えを実施して正田山整備を進めました。</p> <p>(実施時期): 10月13日</p> <p>(参加人数): 34人</p> <p>(成果): 事前の調査、準備も良く、当日1日で2階部と併せて1階部も塗り替え補修も出来ました。</p> <p>(評価): -</p> <p>(今後に向けて): タンク壁面の状態を見ながら色直しを継続します。正田山の整備については、地域として、30年11月末に「アスレチック遊具の増設」を申請しており、継続して山口市と協議して進めます。</p>

(6) 地域個性創出

事業名	6-① あいさつ運動の推進
事業費	45,200円
事業概要	(実施内容): 地域全体で取り組む「あいさつ運動」・標語募集等を実施しました。 (実施時期): 30年8月 ~ 31年1月 (参加人数): 小学校全児童 及び地区住民 (成果): 児童(188点)、一般(14点)と多くの標語応募があり、児童8点、一般3点の入選作品を表彰しました。また標語看板を小学校フェンスに掲示しました。 (評価): あいさつ標語募集については反響があるものの、登下校時の「見守り隊」の声を聞くと実態はあいさつをする子が少ない状況になっています。 (今後に向けて): 継続の必要性があるものの、家庭内・親とのあいさつが出来ていないとの声もあり、今後は取組み方法も検討が必要です。

事業名	6-② ニュースポーツの振興
事業費	0円
事業概要	(実施内容): 子ども参加を重点にして、グラウンドゴルフを関係団体の支援を受けて実施します。 (実施時期): 10月28日に計画しましたが、参加申込が少なく(2名)中止しました。 (参加人数): - (成果): 中止しました。 (評価): この類の事業の進め方(計画、時期、準備、募集等)について、事務局と部会との連携も含めて見直しをします。 (今後に向けて): 最近、協議会で保有しているスポーツ器具(カローリング、ボッチャ、ペタンク、グラウンドゴルフ)の利用が増え、サークル親交に役立っており、更に促進を図って行きます。

事業名	6-③ 伝統行事の継承推進事業
事業費	18,294円
事業概要	(実施内容): 昨年に引き続き、子どもから大人まで楽しめる昔あそび的なイベント(地域伝統)を企画し、実施しました。【手作りの凧揚げ】 (実施時期): 凧揚げ 平成31年1月14日 (参加人数): 凧揚げ 児童19人 (成果): 【凧揚げ】・・保護者付き添いの形で、初めての手作りの凧、凧揚げで、こんな経験が出来て良かったという声が多く、部会委員からも取り組んで良かったと聞いています。今年は特に凧揚げ日和で、皆の手作り凧が空を舞い、親子の歓声が響きました。昼飯(ぶた汁・おにぎり)を男性料理グループが支援 (評価): 取組みも結果的には、好評であったものの、短期間にバタバタと推進した面があり、もう少し計画的に時間の余裕をとりながら、事業推進する必要があります。 (今後に向けて): 次回実施する時は、事前の計画準備を十分に考えて取り組むよう検討します。

事業名	6-④ 社会教育協賛
事業費	122,400円
事業概要	<p>(実施内容): 中学校区域の健全育成への運動へ協力活動(大内小鯖地域協育ネット)します。また、夏休み期間中の鳴滝プール管理に対して助成しました。</p> <p>(実施時期): 大内小鯖地域協育ネットの活動支援(平成30年11月末)、鳴滝プール管理(夏休み期間中開設)</p> <p>(参加人数): 大内小鯖地域協育ネットのクリアファイル 500枚分、鳴滝プール管理ボランティア 8人</p> <p>(成果): クリアファイル配布により、健全育成への運動協力実施。地元有志による夏休み期間中の鳴滝プール管理により水難事故が今年度もなく役目が果たせました。</p> <p>(評価): ー</p> <p>(今後に向けて): 大内小鯖地域協育ネット活動に対しては、今後も協力して行きます。鳴滝プールについては、自然のきれいな水の中で遊ぶことが出来るということで、小鯖地区外からも多くの親子連れに利用されていて評判になっているので継続して進めます。</p>

(7)小鯖地域自主防災会

事業名	7-① 小鯖自主防災訓練・研修の推進事業
事業費	17,752円
事業概要	<p>(実施内容): 小鯖小学校夏休み防災体験教室(防災知識・応急食器づくり・竹飯・カレー作り)と避難所体験研修(避難所運営・物資補給訓練・炊き出し訓練)を実施しました。</p> <p>(実施時期): 防災研修講話 30年4月24日 夏休み子ども防災教室 30年8月18日 自主防災研修 31年2月9日</p> <p>(参加人数): 防災研修講話 約50人 夏休み子ども防災教室 約70人 自主防災研修 約50人</p> <p>(成果): 子どもたちの防災知識向上保護者や地域の参加者等との連携を高めることが出来ました。また、地域の防災意識具体的な訓練をグループで実践して理解が深まったと好評でした。</p> <p>(評価): 研修訓練は多くの人に参加してもらいたいが、地域での行事が年間を通して多く、時期の検討が難しいです。</p> <p>(今後に向けて): 「災害は忘れた頃にやってくる」事からしても、研修訓練等は継続して単位地区の防災会と共に推進して行きます。</p>

事業名	7-② 災害発生防止対策事業
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容): 昨年度に続き、地区内の被災した箇所等を実際に確認し、住民で可能な防災対策を考えるための計画を立てましたが、時期タイミングを合わせる事が出来ず実施しませんでした。</p> <p>(実施時期): 未実施</p> <p>(参加人数): ー</p> <p>(成果): ー</p> <p>(評価): ー</p> <p>(今後に向けて): 次年度は、防災研修等の計画とも合わせ、実施するよう進めます。</p>

事業名	7-③ 避難時必要資材充足
事業費	500,466円
事業概要	<p>(実施内容): 自主防災及び避難に関連した資材補充を行ないました。</p> <p>(実施時期): 30年4月～31年3月</p> <p>(参加人数): ー</p> <p>(成果): 仕切りパネル、簡易組み立てベッド、非常食等を購入しました。</p> <p>(評価): ー</p> <p>(今後に向けて): 避難時に必要と思われる資材を主に補充していくよう進めます。</p>

(8) 特別・実行委員会

事業名	8-① 小鯖夏まつり
事業費	360,000円
事業概要	<p>(実施内容): 実行委員組織で地域住民が力を合わせ、手作りのプログラムで「まつり」として毎年イベントを企画し運営実施しており、それに対し協賛する形で費用助成しました。</p> <p>(実施時期): 30年8月11日</p> <p>(参加人数): 約800人</p> <p>(成果): 地区内外の多くの家族連れ、子どもの参加が見られ、ほのぼのとした地区の繋がりを感じるものになりました。</p> <p>(評価): ー</p> <p>(今後に向けて): 今後も久しぶりに帰省した家族とともに、子供の参加を促進するような 楽しい雰囲気「夏まつり」になるよう助成します。</p>

事業名	8-② 小鯖ふるさとまつり
事業費	270,000円
事業概要	<p>(実施内容): 各種団体の学習成果発表、展示バザー等を開催し、日頃の成果を広く、知らしめる交流の場(まつり)で、それに対し協賛する形で費用助成しました。</p> <p>(実施時期): 30年11月18日</p> <p>(参加人数): 約700人</p> <p>(成果): 若干心配される天候ではありましたが、参加者は多かったように思われます。ぶっくんコーナー、科学実験コーナー等も好評で子供の来場者にも喜ばれました。今年もゆるキャラ『さばろっち』登場で多くの子どもに注目を浴び、おまつりの雰囲気が盛り上がりました。</p> <p>(評価): 今年も中学校のボランティア参加によるまつり運営をしました。また小学校の協力を得て、小学生の標語・絵の作品展示を行なうとともに、展示団体、協力団体の一年の成果発表の場にもなりました。</p> <p>(今後に向けて): 学習発表団体は減少傾向にあるが、イベント内容も充実させていき、今後は幼稚園・JAとも連携して一緒に地域のまつりを盛り上げるよう助成します。</p>

事業名	8-③ 若者のびのび事業
事業費	13,888円
事業概要	<p>(実施内容):若い世代のメンバーで「鳴滝クリーンマルシェ作戦」を企画立案して実施しました。小鯖の貴重な財産である「鳴滝」に沢山の人に訪れてもらえるように、先ず綺麗に整備しよう、次に猫問題に取り組もう、そして公園でマルシェが出来るような環境にして行こうと取り組みました。</p> <p>(実施時期):企画立案提出 30年11月末 審査採択30年12月初め 第1回目鳴滝公園をきれいにする会 30年12月23日、第2回目 31年1月27日、第3回目 31年3月17日</p> <p>(参加人数):基本メンバー 10人 第1回目12人、第2回目9人 第3回目16人</p> <p>(成果):平成30年12月から計画通りスタートしたが、猫についての講習会を開催する件で問題が発生し講習会が開催出来なくなり、結果的には草刈り整備のみを実施することになりました。どこの地域でも猫問題は、動物愛護が付きまとい簡単に解決出来ません。</p> <p>(評価): —</p> <p>(今後に向けて):鳴滝公園の草刈り整備と猫問題は、それぞれ別々の取り組みを検討します。</p>

事業名	8-④ さぼろっち活動
事業費	15,222円
事業概要	<p>(実施内容):ゆるキャラ「さぼろっち」(着ぐるみ)を活用し、地域内の行事等に参加し活性化すると共に、地域外のイベントにも積極的に参加してその場を盛り上げ、小鯖のPR活動に努める。</p> <p>(実施時期): 30年4月 ~ 31年3月</p> <p>(参加人数):さぼろっち活動メンバー 6人 交代で参加</p> <p>(成果): 地域内では常連化し、小学校・幼稚園行事や地域まつりに参加。地域外からの参加依頼があったものや、テレビメディアのイベント等にも参加して「さぼろっち」「小鯖」をPR活動しました。色々な情報媒体を通して広く認知してもらえるようになりました。</p> <p>(評価):さぼろっち活動とメディア情報利用して広報活動も向上しています。</p> <p>(今後に向けて):日程を調整しながらのメンバー活動で大変苦勞が多いので、メンバー補充をしながら幅広く活動できるよう進めます。</p>

事業名	8-⑤ 竹馬世界選手権大会
事業費	169,296円
事業概要	<p>(実施内容):小鯖小学校では46年の歴史をもつ伝統文化「竹馬大会」を幅広く知ってもらい参加してもらい、交流が増え小鯖の文化を「竹馬世界選手権大会」という形で、多くの人の関わりで運営実現しました。</p> <p>(実施時期): 30年7月 ~ 31年3月 (2月17日に竹馬世界選手権大会実施)</p> <p>(参加人数):運営参加 約40名および協力団体(豊寿連合会、婦人部等) 競技参加者 徒競走 125組 障害物競争 88組</p> <p>(成果):開催6か月前から運営協力者を募り始め、競技内容、準備等を日程を決めつつ計画的に推進出来る体制を話し合いを重ね整え実現出来ました。</p> <p>(評価): 声を掛けつつ広がりを持って多くの運営協力者が参加した体制でも、それぞれが率先して出来る役割分担を明確にして取り組むことが出来、最終的に竹馬大会も目標の参加者数も遂げ、皆が達成感を持って終了出来た。</p> <p>(今後に向けて): 竹馬大会だけではなく、このような取組み方を参考にして、他の事業を進める。</p>

その他

事業名	予備費
事業費	円
事業概要	(実施内容): (実施時期): (参加人数): (成果): (評価):— (今後に向けて):

(注) 事業概要の欄には、事業の目的、事業内容、実施時期、参加予定者数等の項目で概要を記載してください。